

平成 25 年 4 月 24 日
一般社団法人 金融先物取引業協会
バイナリーオプションワーキンググループ

バイナリーオプションワーキング最終報告の公表について

通貨（通貨指標）を原資産とする個人向け店頭バイナリーオプション取引は、新たなデリバティブ取引として投資者の関心が高まりつつあり、投資者数や投資総額も顕著に増加する傾向が認められます。

本ワーキンググループは、昨年 9 月、既に投資者の間に広く浸透した外国為替証拠金取引とは異なるリスク性を有するなど、固有の特徴を持つ個人向け店頭バイナリーオプション取引について、金融商品取引として、引き続き健全な成長を促すために必要となる取引の内容（商品性）、投資者保護上の措置、取引価格に対する投資者からの信頼性を高めるための施策を検討するため、「バイナリーオプションワーキンググループ（WG）」として設置されました。

本WGは、昨年 12 月に自主規制の骨子を取りまとめ、以後、その具体化に向けた検討を重ねてきましたが、今般、別添のとおり、最終報告「通貨（通貨指標）を原資産とする個人向け店頭バイナリーオプション取引にかかる自主規制の在り方（最終報告）」を取りまとめましたので、公表いたします。

なお、本WGでは、本最終報告に基づき、早期に自主規制規則が定められ、当協会の会員が取り扱う個人向け店頭バイナリーオプション取引にかかる会員の業務態勢の整備が推進されることを期待します。

以上

本件に関するお問い合わせ
当協会事務局：03-5280-0881
ffaj@ffaj.or.jp